

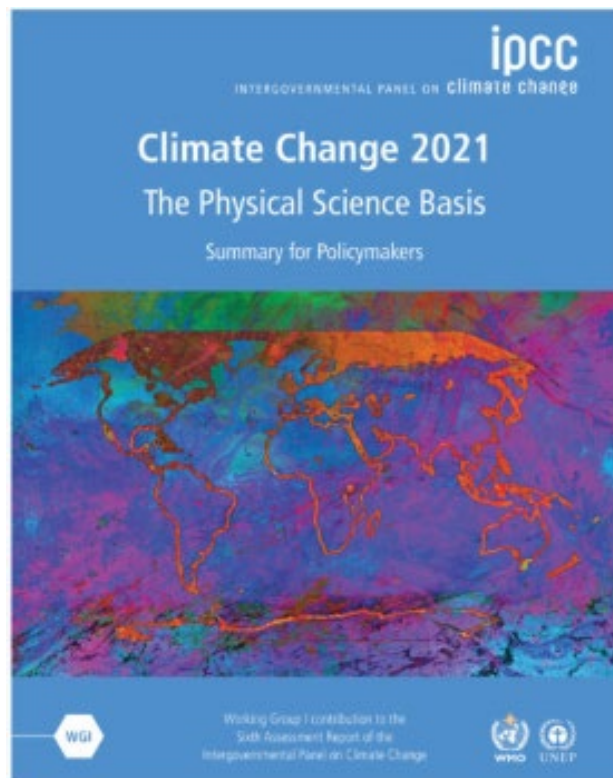
気象キャスターが感じる 脱炭素の重要性

テレビ新広島 気象予報士 青坂 匠

気候変動に関する世界的認識

- ・ 国連気候変動に関する政府間パネル「I P C C」

第6次評価報告書（2021年～）



人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。(中略) 広範囲かつ急速な変化が現れている。

人為起源の気候変動は、世界中の全ての地域で、多くの気象及び気候の極端現象に既に影響を及ぼしている。

夏の記録的高温

→今年夏の日本の平均気温はこれまでの記録を大幅に上回り
統計開始(1898年)以降で過去最高に

6～8月の平均気温

- ①2025年(+2.36°C)
- ②2024年・2023年(+1.76°C)
- ④2010年(+1.08°C)
- ⑤2022年(+0.91°C)

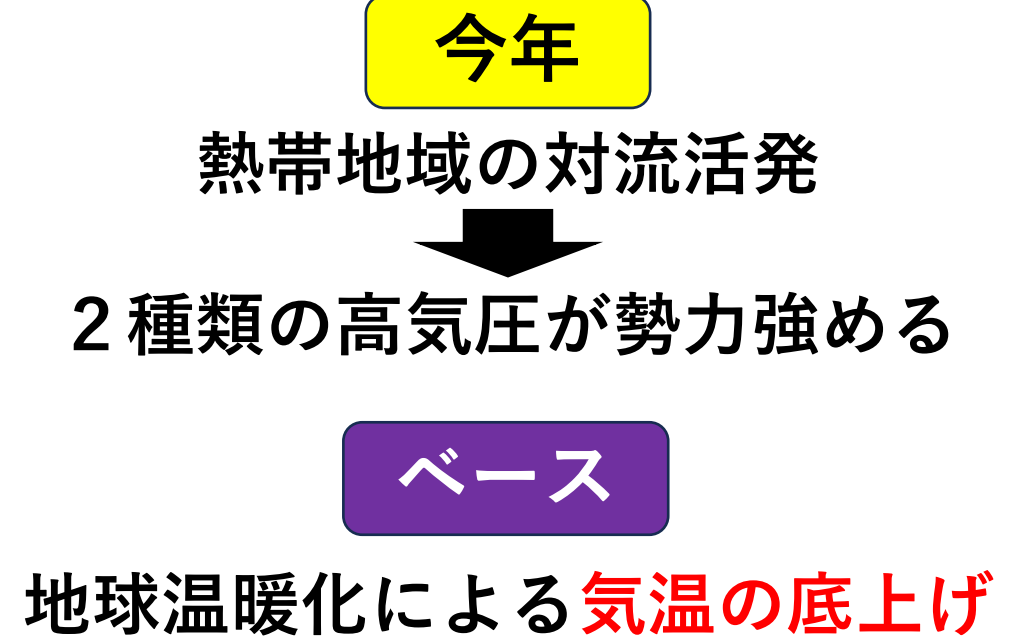
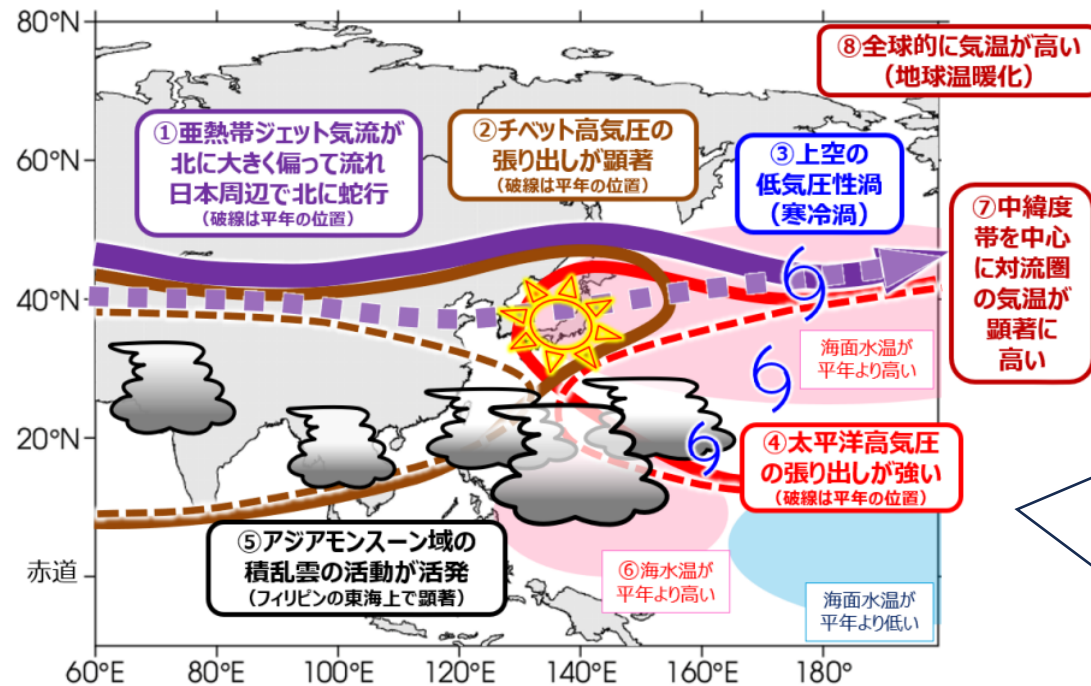
(※1991～2020年の30年平均値を基準とする偏差)

最高気温の記録も更新

群馬県伊勢崎市41.8°C(8月5日)



地球温暖化 高温への影響



出典：気象庁HP 図0 令和7年夏の顕著な高温と少雨をもたらした大規模な大気の流れに関する模式図

さらに、文部科学省気候変動予測先端研究プログラムと

気象庁気象研究所の合同研究チームによる速報的な評価

→地球温暖化が無いと仮定した場合、今年夏の高温はほぼ発生し得ない

暑さ自体が“災害”の1つに

熱中症による救急搬送者数

(消防庁の集計・5～9月)

※全国の累計人数が
初の10万人超え

①2025年：100,143人
(～9月28日)

②2024年：97,578人

③2018年：95,137人

④2023年：91,467人

→適応（影響に備える）

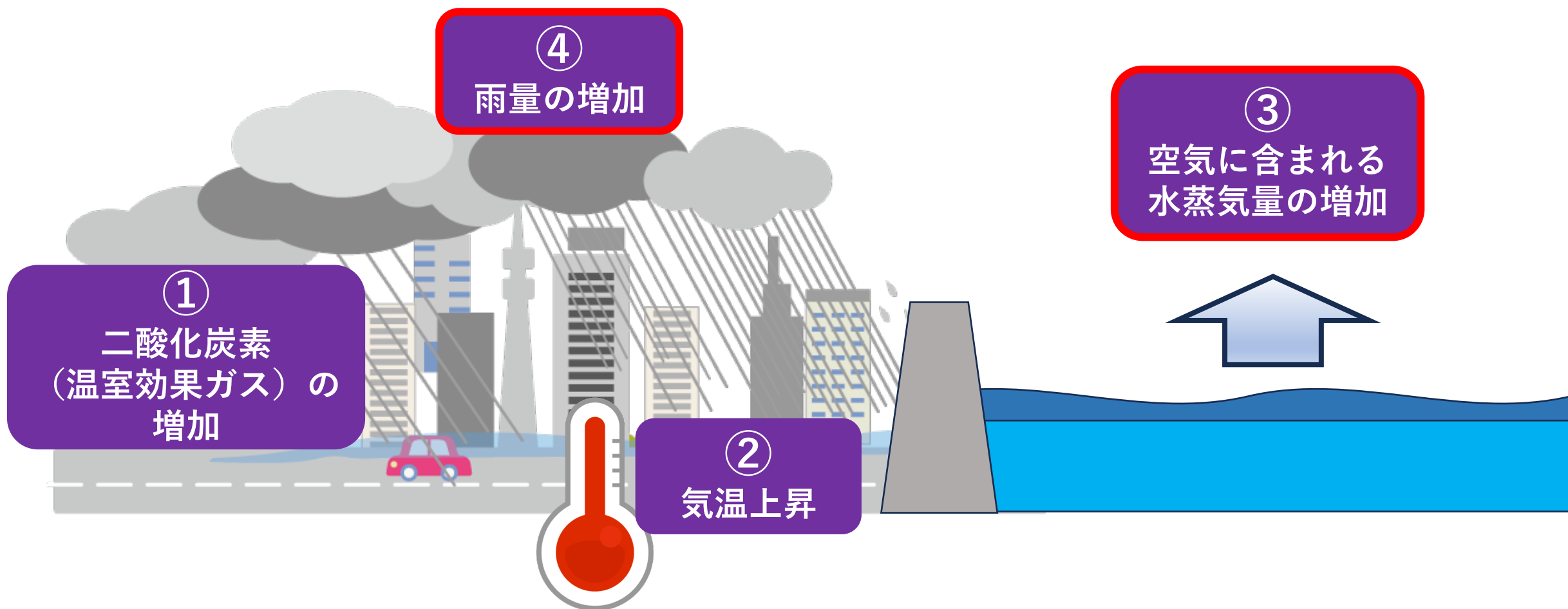
これまでの日常を変えないと
命の危険が迫るまでに！

放送やネット配信を通じた
呼びかけ

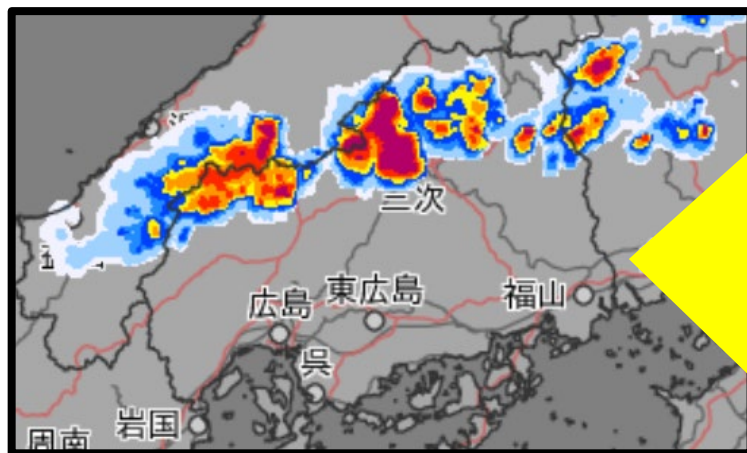
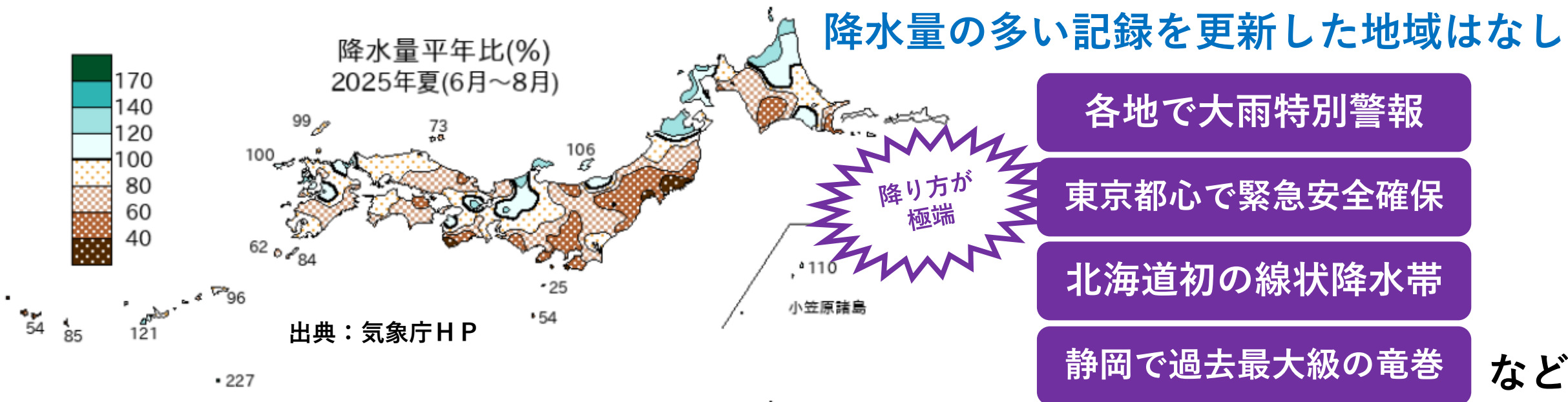


温暖化の仕組み・考えられる影響

(画像一部出典：気候変動適応情報プラットフォーム)



極端な大雨は今年も…



広島でも…

「記録的短時間大雨情報」

6年ぶりの発表（7月8日）

“夕立”の範疇をこえるような雨多発